

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	127	学校名	仙台市立錦ヶ丘小学校	校長名	高橋 和之
------	-----	-----	------------	-----	-------

- 1 取組のタイトル, テーマ
「錦ヶ丘小学校 エコプロジェクト～持続可能な社会を目指して～」



2 取組の紹介

2年 「ぐんぐんそだてわたしの野さい」

生活科の学習で、地域にある農園を借り、サツマイモの苗を植えて大切に育てました。ボランティアの方々力を借りながら、秋には立派に育ったサツマイモを収穫することができました。大きく育ったサツマイモは、給食室で調理し、サツマイモご飯として全校児童に提供されました。また、残ったつるを使って、リース作りを行いました。学習を通して、植物を大切にすること、資源を無駄なく使うことを経験することができました。



4年 「豊かな食生活を送るために」

総合的な学習の時間で、日本の食文化について学びました。その中で、日本には多くの食品ロスがあることを知りました。食品ロスを減らすためにはどうしたらよいかを自分たちで考えたり、どのような取組が実際に日本で行われているのかを調べたりしました。給食の残食を減らすことや、必要な物だけを購入しようとする気持ちを持つことができました。



給食委員会

給食ができるまでの様子や、「食品ロス」についてロイロノートでまとめました。作成したスライドは、お昼の放送の時間を利用し、発表しました。また、業者の方に感謝の手紙を書いたり給食に関する標語を作ったり読んだりする活動を通して、食に関心を持ち、残食が減るように呼び掛けました。

- ⑤ 食品ロス
- 一人あたり、お茶碗一杯分
 - 1日、おにぎりの数でいうと1億2000万個分も捨てられています。(日本全体)



3 取組の成果 (児童生徒の変容)

エコプロジェクトを通しての児童の変容は以下の通りです。

- ・サツマイモのリース作りや残食をなくす取組など、様々な活動を通して、今ある資源を大事にしようとする意識が育まれました。
- ・給食委員会からの「食品ロス」の呼び掛けや、日々の給食指導によって、学校全体の残食率は低下してきています。